

参加校

北海道釧路湖陵高等学校	東京都立武蔵高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
青森県立青森高等学校	千代田区立九段中等教育学校	三重県立四日市高等学校
八戸聖ウルスラ学院高等学校	渋谷教育学園渋谷高等学校	滋賀県立彦根東高等学校
岩手県立一関第一高等学校	東洋英和女学院高等部	京都府立嵯峨野高等学校
岩手県立盛岡第一高等学校	富士見高等学校	京都府立鳥羽高等学校
仙台市立仙台青陵中等教育学校	品川女子学院高等部	京都市立堀川高等学校
秋田県立本荘高等学校	獨協中学高等学校	京都橘高等学校
山形県立山形東高等学校	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	大阪府立北野高等学校
山形県立東桜学館高等学校	神奈川県立湘南高等学校	関西創価高等学校
東洋大学附属牛久高等学校	神奈川県立柏陽高等学校	神戸大学附属中等教育学校
清真学園高等学校	神奈川県立相模原高等学校	神戸市立箕合高等学校
栃木県立宇都宮高等学校	神奈川県立多摩高等学校	雲雀丘学園高等学校
栃木県立宇都宮東高等学校	神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校	奈良県立奈良高等学校
作新学院高等学校	聖光学院高等学校	鳥取県立鳥取東高等学校
群馬県立前橋高等学校	栄光学園高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校
群馬県立太田女子高等学校	浅野高等学校	徳島県立城ノ内中等教育学校
埼玉県立浦和高等学校	慶應義塾高等学校	福岡県立香住丘高等学校
埼玉県立浦和第一女子高等学校	洗足学園高等学校	福岡県立城南高等学校
さいたま市立浦和高等学校	湘南白百合学園高等学校	熊本県立人吉高等学校
千葉県立船橋高等学校	福井県立藤島高等学校	真和高等学校
東邦大学付属東邦高等学校	山梨県立甲府西高等学校	鹿児島県立鶴丸高等学校
翔凛高等学校	長野県長野高等学校	鹿児島県立大島高等学校
筑波大学附属駒場高等学校	長野県松本県ヶ丘高等学校	鹿児島県立鹿児島中央高等学校
東京都立日比谷高等学校	長野県屋代高等学校	鹿児島情報高等学校
東京都立富士高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	(補欠)静岡県立清水東高等学校
東京都立三田高等学校	長野県伊那北高等学校	(補欠)沖縄県立前原高等学校

合計76校+補欠2校

キーノートスピーカー



菅 大介氏
株式会社チェリオ
コーポレーション
代表取締役社長

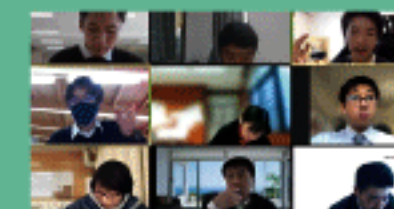


筒井 晴香氏
東京大学生産技術研究所
特任研究員



茶野 順子氏
公益財団法人 笹川平和財団
常務理事

http://www.pdda.org 〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1 大阪公立大学 工学研究科 中川研究室内
Tel:072-254-9220 Fax:072-254-9904 E-mail:contact@pdda.org



文部科学省後援 第9回 PDA高校生 即興型英語ディベート 全国大会

The 9th PDA High School Parliamentary Debate
National Competition

2023年12月23日(土)・24日(日)

—会場—

東京大学 生産技術研究所 An棟
オンライン(Zoom)ハイブリッド

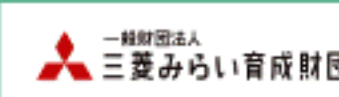
【主催】一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

【共催】東京大学生産技術研究所、大阪公立大学

【後援】文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、全国高等学校長協会、
一般社団法人 日本英語交流連盟、
一般社団法人 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟

【協賛】東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス(ONG)

【助成】公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団、
一般財団法人 三菱みらい育成財団



ごあいさつ

東京大学生産技術研究所 所長・教授

第9回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会が盛大に開催されますことを共催団体として大変嬉しく思います。急速に変化する時代において、様々な情報を集約したうえで、論理を組み立て、他者にわかりやすく伝える力を磨くことは重要です。英語で即興でディベートする今回の大会を通し、皆さんが成長し、社会で活躍されることを祈念いたします。また、専門家からの論題に関連したキーノートスピーチも参考に、ディベートの勝敗を超えた広い視点からも考える力が鍛えられることを期待しています。



東京大学生産技術研究所 所長・教授
岡部 徹 (おかべ とおる)

PDA代表理事

文部科学省後援 第9回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会へのご参加、ご見学をありがとうございます。今年は、4年ぶりの現地開催(ハイブリッド)となりました。昨今、ChatGPTをはじめとする大規模言語モデルを用いた技術が発展し、機械と人間の対話の可能性が広がってきています。PDAにおいても、3月の中学生即興型英語ディベート全国大会にて補欠チームとしてChatGPTを用いたシステムが出場しました。このように、ディベートの訓練において、新しい技術の利用は、教育現場における教員の負担を減らしたり、新しい発想につなげたり、新たな可能性も秘めています。

さて、高等学校における英語科「論理・表現」は2年目となり、学習指導要領にはその内容の一つとしてディベートが示されています。本全国大会で取り扱う即興型英語ディベートは50分の授業で準備、実践、ジャッジが完結する形にデザインされています。英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識、プレゼンテーション力、コミュニケーション力を鍛えるべく、これらの新科目をはじめ、授業での導入がますます進むよう期待しています。標準化された本即興型英語ディベートを用いた教員研修は、教育委員会をはじめ各地で広がってきています。2017年度文部科学省委託事業から本格実施しているPDA認定教育ジャッジ制度は、当該標準化されたルールのもと、教育的配慮を持ってディベートの指導ができる人材を認定していくものです。全国大会においても多くの認定教育ジャッジの先生方がエントリーされています。人工知能(AI)によるアドバイスも効率的な一方、生身の人間からいただく言葉は、それぞれの人生経験を踏まえた視点を取り入れられ、かけがえのない内容とも言えます。生徒、教員、見学含め、参加者の皆様にとって、貴重な二日間となりますよう願っています。

また、競技を超えた「社会で役立つ教養のディベート」をコンセプトとした本全国大会では、専門家によるキーノートスピーチの時間も設けています。ディベートで取り扱った論題について、さらに知見を深め、多様な視点や価値観に想いを馳せる一助となりましたら幸いです。最後に、本大会開催にあたり、ご協力いただきました関係各位に心より感謝申し上げます。



一般社団法人
パラメンタリーディベート
人材育成協会(PDA)代表理事
中川 智皓 (なかがわ ちひろ)
大阪公立大学
工学研究科機械工学分科 准教授
東京大学生産技術研究所
リサーチフェロー
理化学研究所 寄附研究員
兵庫県教育委員



タイムスケジュール

12月23日(土)

- 12:00 受付
- 13:00 開会式、対戦表発表
- 13:20 ジャッジブリーフィング
- 13:30 R1論題発表、準備
- 13:45 R1ラウンド実践
- 14:05 R1ジャッジ
- 14:45 R2論題発表、準備
- 15:00 R2ラウンド実践
- 15:20 R2ジャッジ
- 15:50 レクチャー
- 16:30 R3論題発表、準備
- 16:45 R3ラウンド実践
- 17:05 R3ジャッジ
- 17:45 R4論題発表、準備
- 18:00 R4ラウンド実践
- 18:20 R4ジャッジ(クローズ)
- 18:30 終了

12月24日(日)

- 09:30 受付
- 10:00 準々決勝進出チーム、ジャッジの発表
- 10:30 準々決勝論題発表、準備
キーノートレクチャー①
- 10:45 準々決勝ラウンド実践
- 11:10 昼休み
- 12:10 準決勝進出チームの発表
- 12:15 準決勝論題発表、準備
キーノートレクチャー②
- 12:30 準決勝ラウンド実践
- 12:50 休憩
- 13:15 決勝進出チームの発表
- 13:20 決勝論題発表、準備
キーノートレクチャー③
- 13:35 決勝ラウンド実践
3位決定ラウンド実践
- 14:00 休憩
- 14:15 表彰式
- 15:15 終了

文部科学省・外務省後援 第9回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会

優勝・準優勝・第3位、授業導入優秀校の合計約5校に、2024年1月開催の第9回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権を進呈します。

【日程】2024年1月19日(金)・20日(土)

【場所】オンライン開催(Zoom)

【参加国】海外より12か国、日本より5チーム程度